

維新政治を問う

「おおさか維新の会」(現「日本維新の会」)前代表の橋下徹前大阪市長が敵視してきたものが二つあります。それは職員労働組合と生活保護です。

尾行張り込みも

生活保護に対しては、①全区の保健福祉課(以下・福祉事務所)に警官OBを配置し、保護利用者への尾



全大阪生活と健康を守る会連合会会長

大口 耕吉郎さん

生活保護世帯数は2012年1月から13年1月までに、稼働年齢層もふくむその他世帯が3003世帯も減少(高齢世帯は2531世帯増)。職を失い、病気などを理由に保護を申請した20~50歳代の稼働年齢層に

無視の扶養の強要④異常な

対し、①申請拒否②申請却

均は89.2%。とくにひ

生活保護徹底締め付け 例を見ない違法・異常

78条の取り扱い(不正受給)など、他市では例を見ない違法・異常な保護行政を進めてきました。

下③保護廃止など生活保護から締め出したためです。「生活保護受給者に対する仕送りの『めやす』につ

どいのは65歳以上を担当ケースワーカーは300世帯

ワークができない」「ヘトヘトだ」という悲鳴が上がっています。

社会保障拡充を

「維新の会」の橋下前市長は、年間2900億円以上の生活保護予算が市の財政を圧迫していると不正確な情報を喧伝(けんでん)し、市民をおおり、生活保護の締め付けを徹底してきました。しかし、国の補助が2750億円あり、市の負担は実質的には150億円(市の総予算の4%)です。

また、社会福祉主事の資格をもった職員は74.5%、社会福祉士はわずか3.8%しかいません。こうした中で「きちん」としたケース

(寄稿)